

## 「徳島県水素グリッド構想（中間報告）」の概要について

### 1 構想策定の趣旨

徳島県では、平成20年度に中四国初となる「徳島県地球温暖化対策推進条例」を制定するなど、低炭素社会の実現を目指した施策を推進してきた。

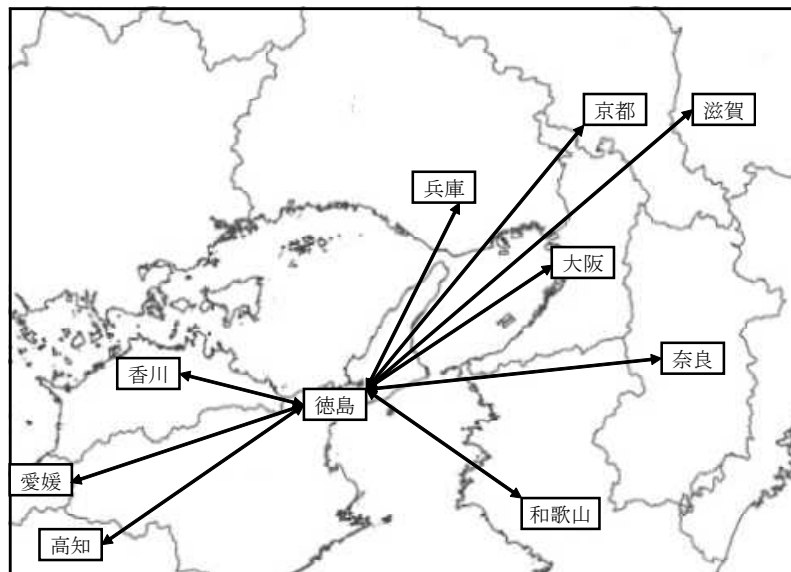
一方、国の新たな「エネルギー基本計画」において、「水素社会」の実現を目指すという方向性が示されたところ。

このような中、長期的には自然エネルギーによるCO<sub>2</sub>フリー水素の製造・利活用を見据えつつ、まずはその第一歩として燃料電池自動車（以下、「FCV」という。）の普及、水素ステーションの整備に向け「徳島県水素グリッド導入連絡協議会」を設置した。

今後、「徳島県水素グリッド構想」を策定し、将来の水素社会の実現に向け、産学官一体となった取組みを推進する。

### 2 徳島県の道路交通状況

徳島県の道路網の骨格となる高規格幹線道路網は「四国縦貫自動車道（徳島自動車道）」、「四国横断自動車道」、「本州四国連絡道路（神戸淡路鳴門自動車道）」で構成されており、県内はもとより四国各県と関西圏を結ぶ結節点として重要な役割を担っている。



### 3 普及・整備目標及び目標達成に向けた施策展開

#### 1) FCV等の普及目標、水素ステーション整備目標

		2025年	2030年
FCV等の普及目標	FCV	1,700台	3,600台
	FCバス	10台	20台
県域別水素ステーション整備目標		6箇所	11箇所

#### 2) 目標達成に向けた施策展開

- (1) FCVの普及に向けた県内への積極的な導入
- (2) 水素ステーションの整備等に対する支援
- (3) 水素エネルギー、FCVの普及啓発